

セカンドライフ ラボ
News Lettervol
6

Message

研究員メッセージ



【研究員】藤岡京子

ミロスラボラトリー【セカンドライフ】では、高齢者を取り巻く様々な課題を取り上げ、その予防法を広く社会にアプローチしています。なぜ問題は起きるのでしょうか？その根本的な原因を紐解いていくことで、あらゆる社会課題に対する“答え”を体感し、まるで生まれ変わったかのように、誰もが全く新しい人生を生き直すことができるのです。実証例を通して、そのメカニズムを俯瞰していきましょう！



【研究員】原田勇光&原田世子



誰もが父と母から生まれ、生命の根源でもある両親からの影響は大きいものです。幼い頃にしみついた考え方がベースとなり、思考概念が形成されていきます。もしも、愛されていないという不足感や欠乏感など、間違っただ思い込みをしたまま成長すれば、その認識や概念は他者との比較によってさらに強化され、人生に大きな影響を与えていきます。埋めようとしても埋まらない愛の不足感が続けば、それを回避するかのように感情を閉ざすようになり、次第に喜びや楽しささえも感じられない不干涉、また精神的な病などに陥ってしまうことも・・・。

Topic

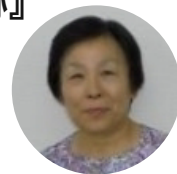
～社会課題～

間違った思い込み“愛情不足”を未然に防ぐ！

実証例

『複雑な家庭環境で生まれた自分にOKを出せた奇跡』

妻子を持つ教師であった父親の事情で、私は私生児として生まれました。私には兄がいましたが幼い時に突然急死し、その後父親の違う弟が生まれました。母は農業で生計を立て一生懸命働く中、私は他の家庭と比較しては、いつも寂しさや不足感を感じていました。しかし、ミロスを知ったことで、長年感じていた思いが一変したのです！母子家庭で寂しい家庭環境で育ったと思い込み、愛情不足ばかりを拾い出していました。思い込みを外し自分の人生を俯瞰してみると、何時も母は愛情深く大事に育ててくれた思い出が次々と蘇ってくるのです。母は、私生児として産んだ事への罪悪感などは見せないようにし、また父の悪口を言うことはなく、父の偉大さを伝え誇りを持たそうとしました。私が母に寂しい思いをさせたくないと感じていた想いは、母の想いそのものだったのです。拭えなかった欠乏感や不足感は、間違っただ思い込みから作られた「幻想」だったと理解することができ、初めてこの自分で良かったのだと感ずることができました。奇しくも母と同じ、教師である夫と結婚、そして3人の子を持った私。幸福感で満たされた新しい第二の人生を満喫しています！



体験者：平得隆子

Comment

いかがですか？複雑な境遇のもとで生まれ育った彼女。その中で長年しみついた一方的な見方や思い込みを外してみたら、今まで感じられなかった愛の源泉を自分の中から感じられるようになったのです！寂しさを感じて傷つけないようにと、感情を閉ざすことはもう必要ありません。これからいくらでも愛を感じても大丈夫。今、彼女は生まれて初めて自分にOKを出せ、幸せな家庭を築き、心から満たされた人生を謳歌しています。いくつになっても人生はやり直せます。新しいセカンドライフを応援しています。



【研究員】野坂貴代子